

3月16日

岡 土木管理課
(TEL 0848-67-6095)

「Re樹のワークショップ」を開催



実業家の前澤友作さんからの寄付を受け、身近な緑の保全などを目的に、市と三原市造園建設業協会が「Re樹のワークショップ」を開催しました。当日は講演会や伐採した樹木を再利用した丸太切り体験、木工体験などが行われ、キッチンカーも営業。今年初めて行われた植樹体験では、小学生らが「大きくなるのが楽しみ」と4本のサツキを植えました。

3月23日

岡 子育て支援課
(TEL 0848-67-6079)

こどもおしごとチャレンジ「こどもカフェ FUN」を1日開店



▲真剣に接客する子ども(中央)

小学生に仕事に関する学びと体験を提供する「こどもおしごとチャレンジ」の連続講座の集大成「こどもカフェ FUN」を1日限定で開店しました。子どもたちはバリスタ、デザイナー、パティシエ、陶芸のチームに分かれ、メニュー開発などを実施。当日は、店を訪れた保護者や関係者から注文を受け、コーヒーやケーキを提供しました。

3月20日

岡 消防本部警防課
(TEL 0848-64-5924)

大学院生が設計した新屯所が完成



消防団三原中央方面隊の新屯所が完成しました。「ひろしま建築学生チャレンジコンペ2022」で最優秀に選ばれた作品で、近畿大学大学院の学生がデザインを担当。「三原に灯をおこす屯所」と題し、開放的な空間が特徴です。小型動力ポンプ積載車4台、ポンプ車1台を配置し、5つの分団を取りまとめ、市中心部の防災・災害対応の拠点となります。

3月23日

幸崎能地春祭りを開催



5年ぶりとなる「幸崎能地春祭り」が開催されました。この祭りは、豊漁や五穀豊穡を願って江戸時代後期に始まったとされています。7枚の布団で飾った、4つのだんじりがぶつかり合う「ふとんだんじり」は県の無形民俗文化財にも指定されています。祭りは2日とも雨の中での開催でしたが、迫力満点のぶつかり合いに、観客からは熱い声援が上がりました。

4月6日

岡 大和支所地域振興課
(TEL 0847-33-0222)

5年ぶりの完全復活!「白竜湖花火inだいわ」



「白竜湖花火inだいわ」が5年ぶりに完全復活しました。新型コロナウイルスの影響を受けて中止となっていた飲食の提供も再開。会場では地元有志らにより大和の特産品を使った軽食や飲み物が販売され、多くの人でにぎわいました。音楽に乗せて約1,000発の花火が打ち上げられ、観客は春の夜空を彩る花火と夜桜を楽しみました。